

Pottery Vase Bluetooth Omnidirectional Speaker

PV031BS

取扱説明書

このたびは、トムズラボ製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。



- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、本取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書は別添付

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

■「警告」と「注意」について

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けして説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性
または重傷を負う可能性が想定され
る」内容です



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性
または物的損害が発生する可能性が
想定される」内容です。



警告

電源/電源コード



必ず実行

電源コード/プラグは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードを他の製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

高温、におい、音、煙などの異状が認められた場合には、直ぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

故障、発熱、火災などの原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- ・重いものを載せない。
- ・無理な力を加えない。
- ・発熱する器具に近づけない。

感電や火災などの原因になります。

使用上の注意



禁止

放熱孔やポートから針金などの異物を入れない。

火災や感電の原因になります。



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず弊社もしくは販売店に修理を依頼する。

火災や感電の原因になります。

設置



禁止

水がかかる場所や湿気の多い場所に設置しない。

水の混入により、火災や感電の原因になります。



必ず実行

心臓ペースメーカーを装着している場合は、装着部から30cm以上離して使用する。

本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。



禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くでは使用しない。

本機が発生する電波により、医療機器の動作に影響を与える恐れがあります。

分解禁止



禁止

分解や改造はしない。

火災や感電の原因になります。
修理および調整は弊社もしくは販売店にご相談ください。

⚠ 注意

電源/電源コード



必ず実行

長時間使用しない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電などの原因になります。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

コードが破損し、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセント根元まで、確実に差し込む。

差し込み不十分により感電したり、ほこりが付着して発熱や火災の原因になります。



禁止

ACアダプターは、布や布団で覆ったり、包んだりしない。

熱がこもり、火災の原因になります。

設置



禁止

直射日光の当たる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。

外装の変色・変形や、内部回路への悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下して、けがの原因になります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。

ほこりの付着によりショートして火災や感電の原因になります。

使用上の注意



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



禁止

キャビネットに硬いものを当てない。

割れたり破損したりして、けがの原因になります。



禁止

キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類を近づけない。

スピーカーユニットの磁気の影響でカードが使えなくなることがあります。

お手入れ



必ず実行

お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。

感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。柔らかい布で乾拭きするか、汚れがひどいときは、水を布に含ませ、良く絞って拭き取ってください。

ワイヤレス（無線）についての注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHzです。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工業ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」）が運用されています。



必ず実行

本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないかを確認してください。



必ず実行

万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を中止してください。



禁止

重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。



禁止

病院など、電波が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器（例えばペースメーカー）などに影響を及ぼす恐れがあります。

まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。

※本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じてても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

各部の名称と機能

- | | |
|--|--|
| ①エンクロージャー
陶器製壺形キャビネット | ②バッフル
スピーカーユニットとポストをエンクロージャーに取り付けます |
| ③バスレフポート
低音を増強します | ④スピーカーユニット
3インチ フルレンジスピーカー |
| ⑤ポスト
ディフューザーをバッフルに固定します | ⑥ディフューザー
音を拡散し空気の流れを制御します |
| ⑦スピーカースタンド
電子基板が内蔵されており、エンクロージャーを平面に設置します | ⑧フロントパネル
内部のLEDの光を確認することができます |
| ⑨電源入力端子 (USB TypeC)
付属の電源アダプター又は別売のポータブルバッテリーのDC OUTPUTを接続します | |



PV031BS正面

スピーカーの設置

壁からの距離

壁やコーナーから1m以上離れた場所に設置するのが理想的です。また、家具などの反射物がスピーカーに接近しないように設置することをおすすめします。

本機の特徴

サイズを超えた音響特性

臨場感や爽快感などの無指向性ならではの良さは勿論のこと、素直に伸びていながらエネルギー感もある高域や、8cmフルレンジとは思えない豊で切れのある低域が自慢。

1. 振動板とポートの協調低音放出

VB031のバスレフポートの共振周波数は通常よりも少し低い周波数に設定され、更にポートの位置はスピーカーユニットの振動板の近くに配置されています。これにより、低音域の空気振動が互いに影響し合い、高いバスレフ効果が得られ、50Hzまで伸びた理想的な低音特性を得ています。

一般的なスピーカーユニットでは、共振周波数を低く設定しすぎると、締まりのない低音になるばかりでなく、中高音の歪も増えてきます。PB031に使用しているスピーカーユニットは、大振幅でも歪みにくく設計されており、高い低音再生能力を有しています。PB031はこのユニットの持つ能力をフルに引き出したスピーカーシステムだと言えることが出来ます。

2. スリット・バスレフ

VB031には開口面積の小さいポートを4本搭載しています。ポート容積に対する空気接触面積を多くしてポート内の空気移動に制動力を付加しています。その結果、振動板自体にも制動が働き、バスレフスピーカーによくあるボン付き音を抑えています。

この方式は、スリット・バスレフとしてTom's labのハイエンド無指向性スピーカー RP123、RP082、RP062にも採用されている方式です。

3. ホーン効果を持ったディフューザー

ディフューザーの役割は音の拡散と空気の流れの制御。口径8cmのフルレンジ・スピーカー用ディフューザーとして期待される拡散効果は、約2kHz以上の高音部で、その効果を得る為には比較的小口径のディフューザーが良いのですが、PB031のディフューザーはφ140mmと大きく設定されています。

その理由は、音の拡散や空気の流れの制御だけではなく、ディフューザーの反射面に特殊なカーブを採用し、振動板及びバッフルとの間でホーンを形成してホーン効果を得ています。

その結果、振動板の空振りが抑えられ、音響変換効率が高くエネルギー感があり、且つ制動が効いた音を実現しました。



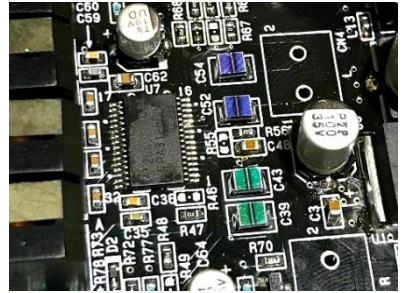
PV031BS裏面

高音質を実現させる最新の電子技術

1. パワーアンプ部

最新の30W×2 Class-D Amplifier systemのデジタル回路とアナログ回路を医療機器レベルで精査し、小型でありながら高い伝送特性と高音質を実現しました。

- ・最新のテキサス・インスツルメンツ社製30W×2 Class-D AmplifierチップTPA3128D2DAPR 及び、超低歪率0.000015%(1kHz)オペアンプOPA1612を採用。
- ・カップリングコンデンサーに、信号劣化が少ないルビコン社製薄膜高分子積層コンデンサPMLCAPを採用。
- ・信号経路の助長やアンバランスを極力避け、最短経路のパターンとし、更に、対となるグランドパターンを高周波レベルで最適化。



2. Bluetoothレシーバー部

高音質なBluetoothレシーバーとして定評のあるキッコサウンドのOKARA oh.1の更なる高音質を追及したプレミアムモデルの内臓部を搭載しました。

- ・最新のQualcomm社製ハイエンドBluetoothチップCSRA64215を搭載し、高音質なaptX/AACコーデックを採用。
- ・測定器にも使用される高精度オペアンプ、リニアテクノロジー社LT6203を使用し、低ノイズ、低歪み、かつ高い応答性により、原音により忠実な再生を実現。



キッコサウンド OKARA oh.1
プレミアムモデル

Bluetoothのセットアップ方法

ペアリング

本機にペアリングスイッチは有りません。
起動後、自動的にペアリングモードとなります。

iPhoneの場合

- ①  「設定」 → 「Bluetooth」 をONにする。



- ② PV031BSを選択する。

「選択済み」と表示されればペアリング完了。
次回からは自動で接続されます。

Androidの場合

- ①  「設定」 → 「Bluetooth」 をONにする。



- ② PV031BSを選択する。

「選択済み」と表示されればペアリング完了。
次回からは自動で接続されます。

Bluetooth LEDの光り方

電源ON時	緑	点灯
ペアリングモード	赤	点滅
Bluetooth接続	赤	点灯
Bluetooth非接続	橙	ゆっくり点滅
AAC選択時	緑	2回素早く点滅
aptX選択時	緑	4回素早く点滅



商品仕様

総合仕様	電源電圧	USB TypeC PD対応 DC20V
	出力	25W
	再生周波数帯域	50Hz～15kHz
	指向角度	完全360°
	Bluetooth仕様	Bluetooth Ver 4.2準拠
	対応コーデック	AAC / aptX / aptX Low Latency
	トータル寸法	220(W)×235(D)×386(H)
	質量	4.2kg
エンクロージャー	形式	陶器製壺形4バスレフポート
	ポート共振周波数	60Hz
	フィニッシュ	黒色還元釉
スピーカユニット	形式	3"防磁型フルレンジ
	ダイアフラム	ポリプロピレンコーン
ディフューザー	材質	ブナ無垢
	フィニッシュ	マホガニー色透明ウレタン塗装光沢仕上げ
スピーカースタンド	材質	パイン集成材
	フィニッシュ	マホガニー色透明ウレタン塗装光沢仕上げ
ポスト	材質	快削黄銅
	フィニッシュ	黒ニッケルメッキ
フロントパネル	材質	スモークアクリル T=2.0

同梱品	PD対応AC電源アダプター、取扱説明書、保証書
-----	-------------------------

- * 本モデルは手作り品の為、作品毎の表面の色調や表情に若干の違いが生じる場合があります。
- * 別売のモバイルバッテリー（出力DC20V USB TypeC ）を使用することにより、AC電源の無い所でも使用可能です。
- * 電源OFF時に多少のボツン音が出ます。これはUSB TypeC PD対応 DC20VのAC電源アダプターを直接ON-OFFする仕様によるものです。ご了承ください。

Bluetoothに関するサポート

- ・トラブルシューティング、よくあるご質問
<http://quicco.co.jp/ja/oh1/faq/>
- ・お問合せ
support@quicco.co.jp

iPhoneはApple Inc.の登録商標です。
AndroidはGoogle Inc.の登録商標です。
BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

サービス

本製品の修理の依頼や商品仕様等に関するお問い合わせは、お買い上げ店、またはTom's lab までご連絡ください。

■保証期間

お買い上げ日から1年間です。

■保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

■修理料金の内訳：技術料 部品代 出張料

Tom's lab
〒434-0034
静岡県浜松市浜北区高畑2-3
TEL：090-5115-5497
E-MAIL：info@tomslab.jp
HP：http://www.tomslab.jp/